

## 編集後記

阪神高速道路淀川左岸線が通る大阪市此花区に、2001年春に開業する米国映画のテーマパーク、「U S J」(ユニバーサルスタジオジャパン)の建設工事が進められています。関西圏の文化、経済活性化の起爆剤になる期待が込められています。

来場者が年間800万人以上と見込まれるこのイベントに、大阪だけでなく、京都、神戸をはじめ周辺への波及効果が期待されます。

よく比較に上げられる「TDL」(東京ディズニーランド)は、東京近郊でもあり、抜群の集客力でここまで成功してきました。

関西という地域にあって、「U S J」には知恵と工夫を出してもらい、是非成功して関西全体が良い方向に向くような波及効果をあげて欲しいものです。

淀川左岸線は、4号湾岸線から北港JCTで分岐し東へ進み、高架構造で「U S J」を右手に見ながら、島屋から大阪市内へは地下構造の都市高速道路として建設中です。

近年、世間を取り巻く環境問題等から、都市高速道路の計画は地下式が多くなってきました。このことから、寄稿される論文も、トンネルをはじめ地下構造に関するものが増えてきました。技術者の皆様も、今までの高架構造から経験の少ない地下構造まで、多種多様な技術に取り組むことになり、多忙を極める中ではありますが、時代の変化と共に、社会の要請に柔軟に対応する努力が必要です。また、それに挑戦してこそ技術の進歩があるものと思われま

す。おわりに、技報第19号の発刊にあたり、特別論文を執筆して頂きました立命館大学教授巻上安爾先生、編集委員長で巻頭言を執筆して頂きました中原審議役をはじめ、論文執筆者および編集委員、幹事の皆様に大変なご苦勞をおかけしました。心から厚くお礼申し上げます。

(管理技術センター開発研究部記)